

# まさかりが紡ぐ地域の魅力

## 青森県立田名部高等学校 定時制の課程 2 年次

### ◇本校のテーマ

#### 「まさかりの魅力を発見 ～下北を持続可能な社会に～」

本校のあおもり創造学では、下北の豊かな自然や歴史に触れ、それらを活かした観光や産業の現状を学び、自ら進んで課題を見つけ、解決策を考察します。また、地域の様々な職業人と出会い、多面的な観点から下北地区、青森県の魅力を発見し、そして、課題の設定と解決に取り組む過程で、自ら郷土に愛着と誇りを持ち、主体的に未来を切り開く人材を育成することをテーマとしています。

### I 下北ジオパークについて

#### ① むつ市役所出前講座

むつ市役所ジオパーク推進課の太田原潤さんをお招きし「下北ジオパークと恐山について」学ぶ講演会を実施しました。

〔生徒の感想〕

- ・ジオパークの歴史や目的について学ぶことができた。
- ・恐山は複数の山の総称だということが分かった。
- ・宇曽利山湖が少しハートの形みたいになっているのがかわいい。
- ・ジオパークの魅力を発信する活動をもう少しくわしく知りたい。
- ・恐山の地形や環境に適応する生物にはどんなものがあるのか知りたい。

#### ② 青森大学社会学部工藤 和彦教授による「地域学」講義

- ・下北の伝統芸能など昔のことをもっと知りたい。
- ・恐山は活火山で、信仰の場になっていることが分かった。

#### ③ 恐山フィールドワーク（恐山・釜臥山展望台）

下北ジオパークガイドの川岸朋美さんのガイドのもと、恐山・釜臥山展望台でのフィールドワークを実施しました。

まず始めに、ジオパークの言葉の意味や、ロゴマークの4色で示されている4つの地質について学びました。



次に恐山では菩提寺や宿坊、温泉など1カ所ずつ見学し、酸性下で生育するコケの生態な説明していただき、地質・文化・生物環境と幅広く学びました。

釜臥山展望台では、天候に恵まれ北海道や、太平洋・津軽海峡・日本海も見通せることができ、自分たちが住んでいる地域を眺めることで、地形の特徴や美しい景色を改めて体感する良い機会となりました。



次に恐山では菩提寺や宿坊、温泉など1カ所ずつ見学し、酸性下で生育するコケの生態な説明していただき、地質・文化・生物環境と幅広く学びました。

釜臥山展望台では、天候に恵まれ北海道や、太平洋・津軽海峡・日本海も見通せることができ、自分たちが住んでいる地域を眺めることで、地形の特徴や美しい景色を改めて体感する良い機会となりました。

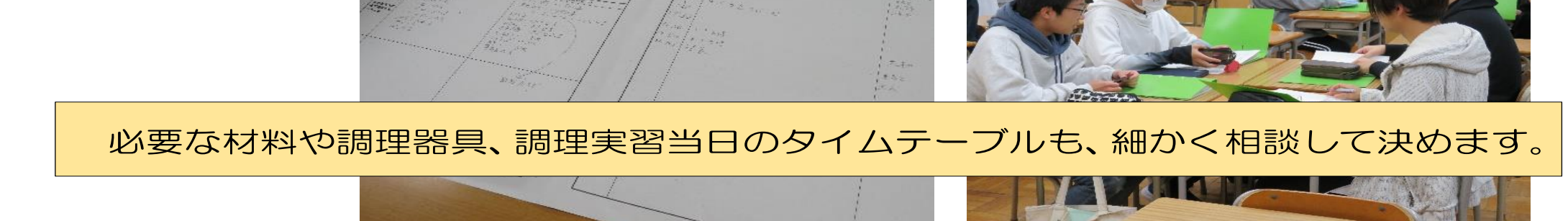
### II 郷土料理について

#### ① 自分たちで作ってみよう

青森県内の郷土料理や話題になっている料理を、「自分たちで考えて作ってみよう」をテーマに活動しました。

班ごとにメニューを決めて、レシピをインターネット等で調べ、必要な材料や調理器具もすべて班で相談し自分たちで決めました。準備の時間は2時間しかありませんでしたが、どの班も自分たちのアイディアを取り入れたレシピや調理計画を立てることができました。

〔活動の様子〕



〔調理実習当日〕



当日は「包丁を使うのが生まれて2回目」という生徒もいたりして心配しましたが、どの班もみんなで協力して調理を行いました。どのメニューも大成功でした。



#### ② ベコ餅・けいらんを作ってみよう

むつ市むつ食生活改善推進員会の津川るみ子さん他6名の講師の先生をお招きして、むつ下北地域の郷土料理を作りました。

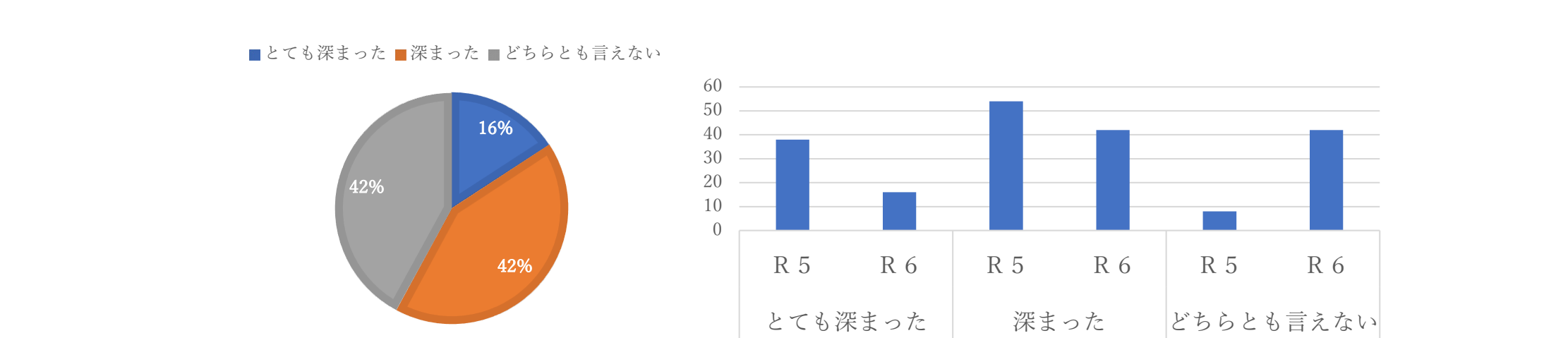
当日は、「べこ餅」だけでなく、むつ下北地域ではお祝いなどがあつた時に食べる「けいらん」も調理しました。また、野菜をたくさん使った「揚げない！ぼん酢で鮭の南蛮漬け」や「きのこのだし炒め」「切り干大根のサラダ」など、普段野菜をあまり食べない傾向にある若者世代に向けた簡単にできる料理など教えてもらいました。

〔活動の様子〕

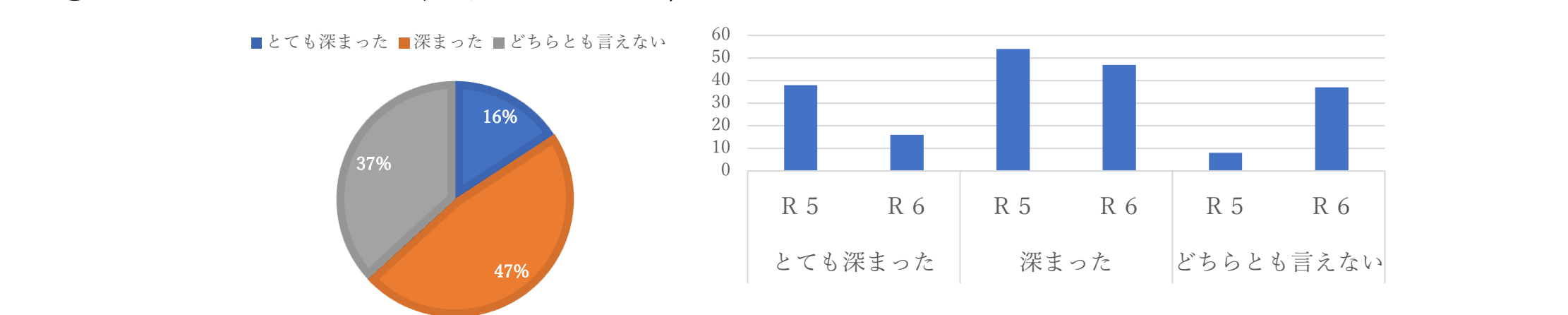


## III 活動を振り返る ～アンケート調査で R5 と R6 を比較～

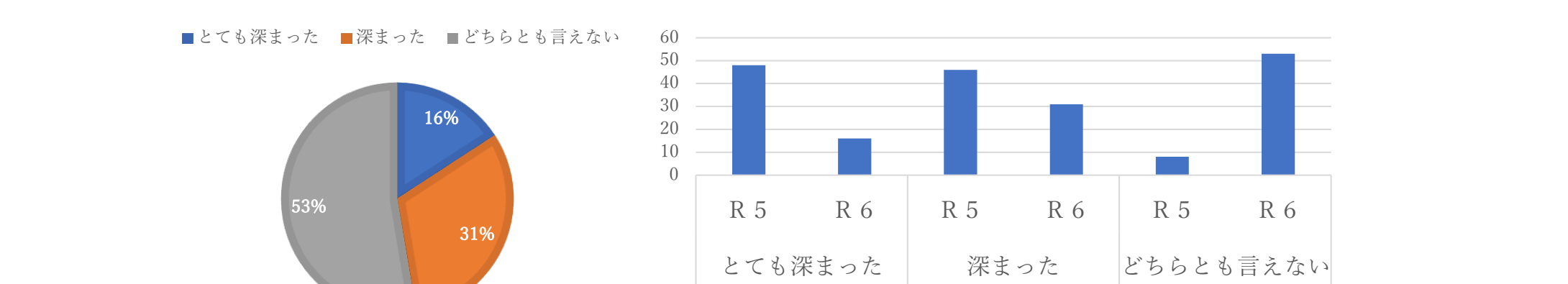
### ① 活動を通して地域の魅力を再発見し、郷土愛が深まりましたか？



### ② 活動を通して地域課題への理解が深まりましたか？



### ③ 活動を通して地域課題解決など地域貢献したい気持ちが高まりましたか？



今年度（R6）は、昨年度以上に外部と関わりを持つ活動を多く実施しました。1年を通して、様々な活動をしてきたことで、地域の魅力を再発見し、地域課題への理解も深まったことが分かります。しかし、これらの活動が「地域課題の解決や地域への貢献」への意識となると、まだ自分ごととして捉えていない様子も伺えます。また、どの質問についても「どちらとも言えない」が昨年度よりも非常に多くなっていたことも今年の特徴です。